

第11回 9月15日(木) 13:00～14:30

モヤモヤから始める政治参加 — 私たちが生きたい社会のつくり方



能條桃子氏

一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事
慶應義塾大学院経済学研究科修士2年
ハフポスト日本版社外編集委員

会場: 津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1998年生まれ、慶應義塾大学院生。若者の投票が80%を超えるデンマーク留学をきっかけに、2019年7月政治の情報をわかりやすくまとめたInstagramプロジェクトNO YOUTH NO JAPANを立ち上げ、2週間でフォロワー1.5万人を集める。その後、「選挙に行こう」と選挙前にバズるだけでは投票率は上がらないと考え、NO YOUTH NO JAPANを団体化。現在、約60人のメンバーと共に、ジェンダーと気候変動に関心を持ちながら、「参加型デモクラシー」のある社会をわたしたちからつくっていくために活動中。団体著書に『YOUTHQUAKE U30世代がつくる政治と社会の教科書』など。

<担当スタッフより>

受講生の皆さんは「政治」と聞くとどのようなことを思い浮かべますか。きっと難しそうなイメージを抱いていたたり、自分とはあまり関係のないこととして捉えている方が多いのではないのでしょうか。今回、ご登壇してくださる能條さんは、このような若者の政治参加をもっと身近なものにすることを目指して日々活動されています。これからの社会を作り、生きていくのは若者であるからこそ、政治を敬遠せず、自分の考えを持って選挙に参加する姿勢を受講生の皆さんに持ってもらいたいです。そして、選挙に参加する過程を通して世の中にあるさまざまな立場や考え方の枠と触れ合ってみてください。また、7月の参議院選挙を思い出しながら能條さんのお話を聞き、受講生の皆さんが今後の選挙に活かしてくれたら嬉しいです。